



協働の森づくりではじまる！高知の未来

こうち カーボン ニュートラル

推進フォーラム 2023

脱炭素に
取り組んで
選ばれる
企業・まちに！

プログラム

- 13:00 開場
- 14:00 開会挨拶
各表彰
(協働の森
協定10周年企業、
高知県地球温暖化
防止県民会議)
- 14:45 基調講演
- 16:15 事例発表
- 16:45 パネル
ディス
カッション
- 18:00 閉会

2023
10/20 FRI

14:00-18:00
[開場13:00]

高知県立
県民文化ホール
(グリーンホール)

主催 高知県

基調
講演

森づくりで実現する
こうちのカーボンニュートラル
一般社団法人more trees 事務局長 水谷 伸吉氏

パネル
ディス
カッション

脱炭素社会が拓く企業の未来
～“いま”こそ知りたい取り組むメリット～
[基調講演者水谷氏と取組先進企業が登壇!]



水谷 伸吉氏

展示コーナー

高知の森から
生まれた木製品
[協力]ぶらっとホームMoku

協働の森の間伐材を利用した
バイオプラスチック製品
[提供]株式会社ヘミセルロース

土佐備長炭製品
[提供]室戸市

アンケート
回答者プレゼント
土佐和紙の
メモブロック

事業や取り組みについてはこちら▶

こうちカーボンニュートラル推進フォーラム 検索



協働の森づくりではじまる！高知の未来

県土の84%が森林に覆われ、日本一の森林率を誇る高知県は、全国に先駆けて森林環境税を導入するなど、早くから森林環境の保全に積極的に取り組んできました。

2005年からは「協働の森づくり事業」をスタート、環境先進企業・団体の皆様、市町村等、そして高知県の間で「パートナーズ協定」を締結し、手入れの行き届いていない森林の再生を進めています。

また、これまで整備した森林で吸収されたCO₂吸収量は192,986t-CO₂となりました。

高知県は2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、2022年にアクションプランを策定し、森林資源をはじめとする本県の強みを活かした取組を「オール高知」で進めていこうとしています。カーボンニュートラル達成のためには、温室効果ガスの排出削減と森林吸収源対策の両面から取り組む必要があり、「協働の森づくり事業」も重要な施策の一つです。

基調講演

森づくりで実現する こうちのカーボンニュートラル

一般社団法人more trees 事務局長

水谷 伸吉氏

1978年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部を卒業後、2000年より(株)クボタで環境プラント部門に従事。2003年よりインドネシアでの植林団体に移り、熱帯雨林の再生に取り組む。2007年に坂本龍一氏の呼びかけによる森林保全団体「more trees」の立ち上げに伴い、活動に参画し事務局長に就任。日本各地での森林保全活動やフィリピン、インドネシアにおける熱帯雨林の再生活動のほか、国産材プロダクトや木育イベントのプロデュース、カーボン・オフセット、ツーリズムも手掛ける。



パネルディスカッション

脱炭素社会が拓く企業の未来 ～「いま」こそ知りたい取り組むメリット～

環境省 四国環境パートナーシップオフィス 所長

常川 真由美氏



コーディネーター

大学を卒業後、青年海外協力隊に参加。タイで植林普及に関わる。帰国後、建設コンサルタント、経営コンサルタント、会社勤務、起業を経て、現職。特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク理事を務める。Think globally, act locally and change personally!(地球規模で考え、地域で活動し、自ら変わっていきましょう!)をモットーに四国を中心に活動中。高知県環境審議会委員。

株式会社四国舞台テレビ照明 取締役営業部部長

武内 淳氏



協定10周年企業

1975年の創業以来48年以上にわたり、四国地区を中心に多くの舞台・イベント業務に従事。舞台技術業界自体の黎明期から現在に至るまで、地域に密着し、四国および全国規模で活動してきた舞台技術のノウハウを直接市民に提供。顧客や地域社会から信頼を寄せられ、共に発展し、環境保全活動や地域防災に貢献し、安心して生活できる地域社会の構築を目指す。この考えに基づき、協働の森づくり事業、HOTARUプロジェクト(津波避難誘導灯の寄贈)、高知県子ども食堂支援基金への寄付など、さまざまな取り組みを行っている。

有限会社 戸田商行 代表取締役

戸田 実知子氏



代表取締役

創業63年、日本で最後の「もくめん」製造会社である戸田商行の3代目社長。高知県産木材を使用し緩衝材である「もくめん」を製造。「木材を余すことなく使う」というモットーのもと、製造過程で排出される端材や剥いだ木の皮はバイオマス燃料として再利用し、廃材を出さない100%循環型工程で製造。カーボンオフセット商品の登録や、環境に配慮した方法での商品作りを行い、持続可能な地域社会づくりに貢献すべく、脱炭素化経営を行う。

梶原町長

吉田 尚人氏



町長

梶原町は、総面積の約9割を森林が占めており、20年以上前から風や太陽光等の自然エネルギーを利用した町づくりに取り組んでいる。「ゼロカーボンシティ宣言」を2021年に行ったほか、昨年、環境省の「脱炭素先行地域」に選ばれており、今後も木質バイオマス発電の導入を予定するなど、継続的な再生可能エネルギーの利用促進の他、森林の整備や木材資源の活用等、森林づくりに一層力を注いでおり、森林を主軸とした持続可能な町づくりを目指している。

基調講演者
水谷氏と
取組先進企業が
登壇!



航空機

高知龍馬空港から車で約25分

鉄道・路面電車

JR高知駅から路面電車に换乘、はりまや橋電停で下車、朝倉・いの方面行きに换乘、県庁前電停で下車約3分

※新型コロナウイルス感染症の流行状況等によって、フォーラムの内容変更・中止する場合があります。